

# 令和4年度 第1回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- I 日時：令和4年6月23日（木） 15：30～17：00
- II 会場：高志館1階研修室
- III 出席者：〔評議員〕有賀 泰司（義務教育関係） 大神田淳子（大学関係）  
傳田 智子（上伊那広域連合） 福澤 勉（自治会関係）  
松井 秀之（企業関係） 岩崎 靖（同窓会関係）  
向中野文子（保護者）  
〔職員〕学校長 教頭 事務長 齋藤（教務・学校評価） 山崎（進路）  
児玉（生徒指導） 木村（特別支援） 中村（CPA）  
山岡（PTA） 若林（職場代表）
- IV 次第：（司会：教頭）
- 1 委嘱状交付
  - 2 学校長挨拶
  - 3 本校の概況について
    - (1) 学習、進路指導（山崎）
    - (2) 生徒指導（児玉）
    - (3) 特別支援教育（木村）
    - (4) 学校評価（児玉）・倉澤
    - (5) CPA（中村）
    - (6) PTA（山岡）
    - (7) その他（倉澤）
  - 3 意見交換
  - 4 学校長挨拶

## 1 意見交換会で出された意見等のまとめ

### (1) 学校教育全般について

- ・かつては、伊那北高校は模試ばかりで大変だという噂も聞いたが、実際のところ生徒たち高校生活に生き生きと取り組んでおり、今日もその様子が見られた。校風の良さを感じた。
- ・クラス替えの必要性についてお聞きしたい。
  - 生徒によってはなかなかなじめないでいることも理解している。メリット・デメリットがあり、議論も行ってきた。
  - 1年生においては、来年度からコース制となるが、コース別でクラスにすることになっている。経過を確認し検討したい。
- ・新型コロナウイルスの影響も3年目となり、行事等の繋がりが切れてしまっているのではないかと心配である。
  - 規模を縮小したりとできる範囲ではあるが、昨年度から繋がりが切れないように各行事を実施してきた。今年度はできるだけ元の姿に近い状態ですべての行事が実施できるよう、安全面に配慮しながらバックアップしたい。
- ・高校生活の3年間の経験が、私においては人生を支えてくれている。勉強・部活等頑張ってもらいたい。その環境づくりをお願いしたい。
- ・「多様化」が走りすぎているのではないかと感じる時がある。多様性を大切にすぎず本質的な部分を失わないようにしてほしい。
- ・恵まれた環境に支えられていることに気づくことができた。3年ぶりに以前に近い形で実施される文化祭の成功を祈っている。

## (2) 生徒指導及び基本的な生活習慣について

- ・不適応の生徒への対応についてお聞きしたい。
  - 年々増加傾向にある。状況も個々によって異なるため、個別対応をとっている。
- ・「深い人格を思い起こさせる指導」について、どのような取り組みを行っているのか。
  - 年度当初の生徒への話の中で、人格の大切さについて諭すように伝えた。  
スマホ・タブレットについては、生徒と教師が互いに見える事柄から意見交流を行い、使用について、人権について考えを深めていく。
- ・気持ちの良い挨拶や雪かき、野球部には地域でも感謝している。勉強も大切だが、こういうことこそ大切にしてほしい。
- ・3年間共に学んだ仲間を大切にしてほしい。コロナの影響で生徒と先生が互いに遠慮しているのではないかと思う。行事などももっと元気にやってほしい。
- ・学校のジャージでの登校は気になる。運動着で学校のすべてのことをやるのはTPO的に問題ではないか。制服も自由化されている。生徒指導にもつながる課題と考える。

## (3) 学習・進路指導について

- ・新学習指導要領になり探究活動、グループワーク等が取り入れられているが、大学受験等へのプラス面についてお聞きしたい。
  - AO等の枠が大学でも広がっている。グループでも個人でも探求したことを面接で伝えることができる力が付き、アウトプットの面で役立っている。また、本人がやりたいことに確実につながっているため、話の内容も質が高く、昨年度もしっかり伝えることができたため合格を掴んだ生徒もいる。
- ・理数科がある割には医学部を目指す生徒が少ないような気がするが、現状をお聞きしたい。
  - 希望者は少なくないが、医学部の壁は厚い現状である。
- ・信州大学では、地域との連携を図る取り組みを推進している。理数科の生徒へは卒業研究発表会を公開し、意識を高めてもらうことができたと思う。新しくできる学際コースへもぜひ協力をしたいので声をかけてほしい。
- ・国公立大学の合格者数増加は高く評価している。いろいろな高校生と交流する中で、国公立一辺倒の傾向が強いのではないかと感じるときがあり、私立大学へのチェンジが難しいのではないかと思う。必要があれば地域に協力を依頼してほしい。
  - 国公立大学を目指すことで幅広い進路選択が可能になる。決して国公立一辺倒ではないことをご理解いただきたい。
- ・探求活動は計画的に良い形で行われている。対話型のワークショップも地域で増え、それに伴い地域での発表の場が増え、参加する生徒も増えている。良い環境となってきた。国際連携やローカルとグローバルな活動への協力も地域でできることが増えてきているので声かけをしてほしい。費用的な協力を同窓会がしていただけることはありがたいことである。
- ・探求の学びを通じ、新たな自分を発見し、自分を見いだすことができるようになった生徒がいる。とても素晴らしいことである。
- ・進学においては、本人の意思・希望は当然のことであるが、保護者のサポートも必要ではないかと思う。その重要性を保護者に伝えてほしい。
- ・卒業後の自分の目的・希望が見えている生徒には良い環境であると感じるが、まだそこまで達していない生徒においては、自分を出すことができず萎縮してしまうのではないかと心配である。

## (4) 情報発信について

- ・ホームページが刷新され、生徒の活躍する姿が可視化されたところは良い。
- ・クロスペンフォトレターどうなったのか。カラー印刷機が入ったのでそれを利用し発行の継続を検討してほしい。地元への情報発信は大切である。
- ・ホームページの刷新は良かった。古いホームページから新しいホームページに簡単にジャンプするようにしてほしい。
- ・生徒の名前と写真と一緒に掲載されているのは個人情報的に問題ではないかと思う。

#### (5) 再編計画について

- ・5月に伊那北の生徒が企画した、「将来の教育を考える意見交換会」はとても良かった。新校の話聞くのは現役の高校生の話が良いと思う。リアリティがあり宝が埋まっていると思う。

#### (6) その他

- ・秋のクリーンアップで、地元と協力して、高志館横斜面の整備等も含め環境整備をすすめてほしい。
- ・校歌と天竜河畔は歌えるようにしてほしい。

## 2 今後に向けて

- (1) 学校の様々な教育活動及び生徒の様子に関しては、一定の評価をしていただいたが、改善・充実・向上を期待するご意見も数多く寄せていただいた。校内全職員で共有するとともに、担当係等を中心に議論を深め、対応等について検討・確認をお願いしたい。
- (2) 第2回は、1月28日(土)予定であるが、指摘を受けた事項に対しての取組状況をプラス的内容で回答できるよう先生方にご協力いただきたい。